

【続き】

4. 集学的治療を行うチーム構成について

各専門科1～4は、最低1名の協力が必要です。裏面に記載された施設研究責任者と実務担当者は重複記載する必要はありません。これらの先生方には、施設研究責任者または実務担当者を通して御連絡をいただくことになります。ただし、JNBSG会員登録希望の方には、JNBSGから直接御連絡できる体制をつくります。紙面が足りない場合は、別紙に記載して御送付下さい。

専門領域	医師名	所属・職名 (施設外の医師の場合は施設情報も記載のこと)	JNBSG 会員登録の希望 (○×で記載)
1. 小児内科			
2. 小児外科			
3. 放射線科			
4. 病理診断科			
5. その他			

以上の記載に相違ありません。

申請責任者（自署） \_\_\_\_\_ 20 年 月 日

備考

( J N B S G 事務局 受取日 20 年 月 日 : 担当者自署 )

送付先：J N B S G 会長

〒305 - 8575

つくば市天王台1 - 1 - 1

筑波大学小児外科

金子道夫宛

電話：029 - 853 - 3094

FAX：029 - 853 - 3149

## Japan Neuroblastoma Study Group (JNBSG)

### 「JNBSG 協力施設」(B 会員を含む) 参加申請書

申請日 20 年 月 日

以下の通り、「JNBSG 協力施設」として、JNBSG の研究活動に参加致したく、ここに申請いたします。

#### 【施設情報】

申請施設名 (公式フルネームで記載して下さい)		
施設所在地	(〒 )	
施設研究責任者氏名	所属・職名	専門領域
電話 (内線)	FAX	E-mail address
( )		
実務担当者氏名	所属・職名	専門領域
電話 (内線)	FAX	E-mail address
( )		

5. 各施設での自主臨床試験やその他の臨床研究の計画書(プロトコール)を審査する委員会について
- (1) 自主臨床試験の審査を行う委員会の名称を記載して下さい ( )
  - (2) その開催頻度を記載して下さい ( )
  - (3) 基礎的研究・疫学研究等、臨床試験以外の審査を行う委員会の名称を記載して下さい〔上記と同じ場合は「同上」として下さい〕 ( )
  - (4) 遺伝子研究の審査を行う委員会の名称を記載して下さい ( )
6. JNBSG メンバーシップに関する規約内容について
- (1) 〔同意する・同意しない〕いずれかに○を付けて下さい
  - (2) 御意見がございましたら裏面の備考欄に御記載下さい

【裏面に続きます】

【続き】

7. JNBSG 協力施設として貢献しうる内容について（自由記載）

--

8. 施設研究責任者・実務担当者以外の会員・研究協力者について

裏面に記載された施設研究責任者と実務担当者は重複記載する必要はありません。これらの先生方には、施設研究責任者または実務担当者を通して御連絡をいただくことになります。ただし、JNBSG 会員登録希望の方には、JNBSG から直接御連絡できる体制をつくります。紙面が足りない場合は、別紙に記載して御送付下さい。

専門領域	医師・研究者名	所属・職名	JNBSG 会員登録の希望 (○×で記載)

以上の記載に相違ありません。

申請責任者（自署）\_\_\_\_\_ 20 年 月 日

備考

--

（JNBSG事務局 受取日 20 年 月 日；担当者自署）

送付先：JNBSG会長

〒305 - 8575

つくば市天王台1-1-1

筑波大学小児外科

金子 道夫 宛

電話：029-853-3094

FAX：029-853-3149

# Japan Neuroblastoma Study Group (JNBSG)

## 「JNBSG 会員 (C 会員)」参加申請書

申請日 20 年 月 日

以下の通り、「JNBSG 会員」として、JNBSG の研究活動に参加致したく、ここに申請いたします。

### 【申請者情報】

申請者氏名			
所属施設名 (公式フルネームで記載して下さい)			
施設所在地	(〒 )		
所属・職名	専門領域		
電話 (内線)	FAX	E-mail address	
( )			

以上の記載に相違ありません。

申請者 (自署) \_\_\_\_\_ 20 年 月 日

備考

( JNBSG事務局 受取日 20 年 月 日 : 担当者自署 )

送付先 : JNBSG 会長  
〒305 - 8575  
つくば市天王台 1 - 1 - 1  
筑波大学小児外科  
金子 道夫 宛  
電話 : 029 - 853 - 3094  
FAX : 029 - 853 - 3149

施設区分	施設名称	研究・連絡責任者氏名	
J N B S G 施 設	北海道大学病院	施設研究責任者	金田真
		実務担当者	長祐子
	北海道立子ども総合医療・療育センター	施設研究責任者	工藤亨
		実務担当者	小田孝憲
	旭川医科大学病院	責任者兼実務担当者	吉田真
	札幌医科大学附属病院	施設研究責任者	鈴木信寛
		実務担当者	畠山直樹
	札幌北楡病院	責任者兼実務担当者	小林良二
	岩手医科大学	責任者兼実務担当者	水野大
	宮城県立こども病院	施設研究責任者	今泉益栄
		実務担当者	佐藤篤
	弘前大学医学部附属病院	施設研究責任者	伊藤悦朗
		実務担当者	照井君典
	山形大学病院	施設研究責任者	三井哲夫
		実務担当者	仙道大
	秋田大学医学部	責任者兼実務担当者	矢野道広
	中通総合病院	施設研究責任者	渡辺新
		実務担当者	平山雅士
	東北大学病院	施設研究責任者	土屋滋
		実務担当者	新妻秀剛
	福島県立医科大学医学部	施設研究責任者	菊田敦
		実務担当者	佐野英樹
	杏林大学病院	施設研究責任者	別所文雄
		実務担当者	吉野浩
	茨城県立こども病院	施設研究責任者	小池和俊
		実務担当者	小林千恵
	横浜市立大学附属病院	責任者兼実務担当者	後藤裕明
	群馬県立小児医療センター	施設研究責任者	林泰秀
		実務担当者	外松学
	群馬大学大学院病態総合外科学	施設研究責任者	桑野博行
		実務担当者	高橋篤
	慶應義塾大学病院	責任者兼実務担当者	嶋田博之
	国保松戸市立病院	責任者兼実務担当者	光永哲也
	国立成育医療センター	施設研究責任者	熊谷昌明
	実務担当者	清谷知賀子	
埼玉医科大学総合医療センター	責任者兼実務担当者	森脇浩一	
埼玉医科大学病院	施設研究責任者	里見昭	
	実務担当者	大野康治	
埼玉県立小児医療センター	責任者兼実務担当者	菊地陽	
自治医科大学	施設研究責任者	前田真作	
	実務担当者	田辺好英	
順天堂大学医学部附属順天堂医院	施設研究責任者	齋藤正博	
	実務担当者	藤村純也	
昭和大学藤が丘病院	施設研究責任者	磯山恵一	
	実務担当者	山本将平	
聖マリアンナ医科大学	施設研究責任者	木下明俊	
	実務担当者	脇坂宗親	
聖路加国際病院	施設研究責任者	細谷亮太	
	実務担当者	真部淳	
千葉県こども病院	施設研究責任者	沖本由里	
	実務担当者	角田治美	
千葉大学医学部附属病院	施設研究責任者	吉田英生	
	実務担当者	菱木知郎	
筑波大学	施設研究責任者	金子道夫	
	実務担当者	福島敬	
帝京大学医学部附属病院	施設研究責任者	小川富雄	
	実務担当者	中村こずえ	
都立清瀬小児病院	責任者兼実務担当者	金子隆	

東京都立八王子小児病院	責任者兼実務担当者	仁科孝子
東邦大学医療センター大森病院	責任者兼実務担当者	小原明
日本医科大学付属病院	責任者兼実務担当者	前田美穂
日本大学附属板橋病院	施設研究責任者	麦島秀雄
	実務担当者	七野浩之
防衛医科大学校病院	施設研究責任者	野々山恵章
	実務担当者	子川和宏
北里大学病院	施設研究責任者	中館尚也
	実務担当者	田中潔
獨協医科大学	施設研究責任者	杉田憲一
	実務担当者	黒沢秀光
獨協医科大学越谷病院	施設研究責任者	池田均
	実務担当者	鈴木信
国立成育医療センター	実務担当者	中川温子
東京慈恵会医科大学附属病院	責任者兼実務担当者	吉澤穰治
東京大学医学部附属病院	施設研究責任者	井田孔明
	実務担当者	杉山正彦
山梨大学医学部附属病院	施設研究責任者	杉田完爾
	実務担当者	犬飼岳史
信州大学医学部	施設研究責任者	小池健一
	実務担当者	柳沢龍
新潟県立がんセンター新潟病院	施設研究責任者	浅見恵子
	実務担当者	小川淳
新潟大学医歯学総合研究科	施設研究責任者	窪田正幸
	実務担当者	平山裕
長野県立こども病院	施設研究責任者	石井栄三郎
	実務担当者	西村貴文
東海大学医学部付属病院	施設研究責任者	上野滋
	実務担当者	森本克
愛知県心身障害者コロニー中央病院	施設研究責任者	飯尾賢治
	実務担当者	加藤純爾
静岡県立こども病院	施設研究責任者	三間屋純一
	実務担当者	堀越泰雄
岐阜市民病院	施設研究責任者	鷹尾明
	実務担当者	篠田邦大
岐阜大学医学部附属病院	施設研究責任者	金子英雄
	実務担当者	船戸道徳
県西部浜松医療センター	責任者兼実務担当者	矢島周平
三重大学医学部附属病院	施設研究責任者	駒田美弘
	実務担当者	堀浩樹
聖隷浜松病院	責任者兼実務担当者	松林正
浜松医科大学	責任者兼実務担当者	岡田周一
藤田保健衛生大学	施設研究責任者	橋本俊
	実務担当者	原普二夫
名古屋第一赤十字病院 小児医療センター	施設研究責任者	加藤剛二
	実務担当者	松本公一
金沢医科大学	施設研究責任者	伊川廣道
	実務担当者	河野美幸
金沢大学医学部附属病院	施設研究責任者	谷内江昭宏
	実務担当者	西村良成
福井大学医学部附属病院	施設研究責任者	眞弓光文
	実務担当者	谷澤昭彦
富山大学附属病院	施設研究責任者	金兼弘和
	実務担当者	野村恵子
医学研究所北野病院	責任者兼実務担当者	塩田光隆
京都桂病院	施設研究責任者	若園吉裕
	実務担当者	水嶋康浩
京都市立病院	責任者兼実務担当者	黒田啓史
京都大学医学部附属病院	施設研究責任者	足立壮一
	実務担当者	渡邊健一郎
京都府立医科大学	施設研究責任者	細井創

近畿大学医学部奈良病院	実務担当者	家原知子
	施設研究責任者	米倉竹夫
滋賀医科大学附属病院	実務担当者	山内勝治
	施設研究責任者	太田茂
	実務担当者	多賀崇
滋賀県立小児保健医療センター	責任者兼実務担当者	鬼頭敏幸
神戸市立医療センター中央市民病院	責任者兼実務担当者	宇佐美郁哉
神戸大学医学部附属病院	責任者兼実務担当者	早川晶
大阪市立総合医療センター	施設研究責任者	原純一
	実務担当者	大杉夕子
大阪市立大学医学部附属病院	施設研究責任者	倭和美
	実務担当者	山口悦子
大阪大学大学院医学系研究科	施設研究責任者	福澤正洋
	実務担当者	大植孝治
大阪府立母子保健総合医療センター	施設研究責任者	井上雅美
	実務担当者	米田光宏
大阪医科大学	施設研究責任者	河上千尋
	実務担当者	井上彰子
奈良県立医科大学	施設研究責任者	吉岡章
	実務担当者	樋口万緑
日本赤十字社和歌山医療センター	責任者兼実務担当者	濱畑啓悟
兵庫医科大学	責任者兼実務担当者	大塚欣敏
兵庫県立こども病院	施設研究責任者	小阪嘉之
	実務担当者	長谷川大一郎
和歌山県立医科大学	施設研究責任者	神波信次
	実務担当者	中山京子
大津赤十字病院	責任者兼実務担当者	今井剛
舞鶴医療センター	責任者兼実務担当者	常盤和明
岡山大学医学部・歯学部附属病院	施設研究責任者	小田慈
	実務担当者	茶山公祐
広島大学病院	施設研究責任者	小林正夫
	実務担当者	佐藤貴
呉医療センター・中国がんセンター	責任者兼実務担当者	宮河真一郎
川崎医科大学	施設研究責任者	植村貞繁
	実務担当者	中岡達雄
岡山医療センター	施設研究責任者	後藤隆文
	実務担当者	中原康雄
山口大学医学部附属病院	施設研究責任者	深野玲司
	実務担当者	戸村友美
島根大学医学部附属病院	施設研究責任者	金井理恵
	実務担当者	竹谷健
愛媛県立中央病院	責任者兼実務担当者	徳田桐子
愛媛大学医学部附属病院	施設研究責任者	石井榮一
	実務担当者	田内久道
香川大学附属病院	施設研究責任者	伊藤進
	実務担当者	今井正
高知大学医学部	施設研究責任者	花崎和弘
	実務担当者	緒方宏美
松山赤十字病院	施設研究責任者	野口伸一
	実務担当者	雀部誠
徳島大学病院	責任者兼実務担当者	渡辺浩良
香川小児病院	責任者兼実務担当者	岩井朝幸
久留米大学病院	施設研究責任者	稲田浩子
	実務担当者	上田耕一郎
宮崎大学医学部附属病院	施設研究責任者	盛武浩
	実務担当者	下之段秀美
九州大学病院	施設研究責任者	田口智章
	実務担当者	田尻達郎
熊本赤十字病院	責任者兼実務担当者	右田昌宏
熊本大学大学院医学薬学研究部	施設研究責任者	猪股裕紀洋
	実務担当者	李光鐘

J N B S G 施設	佐賀大学医学部附属病院	施設研究責任者 実務担当者	尾形善康 西眞範
	鹿児島市立病院	施設研究責任者 実務担当者	川上清 八牧愉二
	鹿児島大学病院	施設研究責任者 実務担当者	河野嘉文 岡本康裕
	大分県立病院	責任者兼実務担当者	糸長伸能
	大分大学医学部	施設研究責任者 実務担当者	泉達郎 末延聡一
	長崎大学医学部・歯学部附属病院	責任者兼実務担当者	岡田雅彦
	福岡大学病院	施設研究責任者 実務担当者	柳井文男 畠中道己
J N B S G 協力施設	国立がんセンター中央病院	責任者兼実務担当者	牧本敦
	国立成育医療センター研究所	施設研究責任者 実務担当者	藤本純一郎 大喜多肇
	埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所	責任者兼実務担当者	金子安比古
	千葉県がんセンター研究局	施設研究責任者 実務担当者	中川原章 上條岳彦
	名古屋医療センター臨床研究センター	責任者兼実務担当者	堀部敬三
	日本医科大学付属千葉北総病院	責任者兼実務担当者	浅野健
	日本大学薬学部	施設研究責任者 実務担当者	鈴木孝 浅見覚
C 会 員	横浜市立大学附属市民総合医療センター		森田智視
	黒石市国民健康保険黒石病院		北澤淳一
	新潟大学医歯学総合病院		赤澤宏平
	西神戸医療センター		松原康策
	静岡県立静岡がんセンター		石田裕二
	総合太田病院		設楽利二
	天使病院		飯塚進
	広島西医療センター		田中丈夫
	名鉄病院		福田稔
	京都府立医科大学		滝智彦
	九州がんセンター		永利義久
	自治医科大学 移植外科		江上聡
	青森県立中央病院		立花直樹
松永クリニック小児科・小児外科		松永正訓	



## JNBSG運営委員会構成員一覧

日本神経芽腫スタディグループ(JNBSG) 役員、運営委員、専門委員会委員長		氏名	所属施設	〒	住所	メールアドレス
会長	関東甲信越	金子 道夫	筑波大学臨床医学系小児外科	3058575	つくば市天王台1-1-1	mkaneko@md.tsukuba.ac.jp
副会長		欠員				
幹事	関東甲信越	熊谷 昌明	国立成育医療センター 血液科	1578535	世田谷区大蔵2-10-1	kumagai-ma@nchcd.go.jp
		欠員				
幹事	近畿	原 純一	大阪市立総合医療センター	5340021	大阪市都島区都島本通2-13-22	jumhara@ped.med.osaka-u.ac.jp
幹事	中国四国	榎山 英三	広島大学小児外科	7348551	広島市南区霞 1-2-3	eiso@hiroshima-u.ac.jp
幹事	関東甲信越	麦島 秀雄	日本大学附属板橋病院	1738610	板橋区大谷口北町30-1	mugishim@med.nihon-u.ac.jp
運営委員長	会長指名	池田 均	独協医科大学越谷病院小児外科	3438555	越谷市南越谷2-1-50	hike@dokkyomed.ac.jp
運営委員	関東甲信越	浅見 恵子	新潟県立がんセンター新潟病院	9518133	新潟市岸町2-15-3	asami@nigata-cc.jp
運営委員	北海道	飯塚 進	母恋 天使病院	065-0012	札幌市東区北12条東3丁目1-1	susumu.iizuka@tenshi-hp.ecnet.jp
運営委員	会長指名	家原 知子	京都府立医科大学小児科	6028566	京都市上京区河原町通広小路上ル堀井町485	iehara@koto.kpu-m.ac.jp
運営委員	関東甲信越	大喜多 肇	国立成育医療センター研究所【協】	1570074	世田谷区大蔵2-10-1	okita@nch.go.jp
運営委員	関東甲信越	上條 岳彦	千葉県がんセンター発がん制御研究部【協】	2608717	千葉市中央区仁戸名町666-2	tkamijo@chiba-cc.jp
運営委員	関東甲信越	菊地 陽	埼玉県立小児医療センター	3398551	さいたま市岩槻区馬込2100	a1091069@pref.saitama.lg.jp
運営委員	東北	菊田 敦	福島県立医科大学小児科	9601295	福島市光が丘 1	akikuta@fmu.ac.jp
運営委員	近畿	小阪 嘉之	兵庫県立こども病院 血液腫瘍科	6540081	神戸市須磨区高倉台1-1-1	kosaka_kch@hp.pref.hyogo.jp
運営委員	会長指名	七野 浩之	日本大学医学部小児科	1738610	板橋区大谷口北町30-1	shichino@palette.plala.or.jp
運営委員	関東甲信越	鈴木 孝	日本大学薬学部臨床医学ユニット【協】	2748555	千葉県船橋市習志野台7-7-1	suzuki@pha.nihon-u.ac.jp
運営委員	九州	田尻 達郎	九州大学病院小児外科	8128582	福岡市東区馬出3-1-1	taji@pedsurg.med.kyushu-u.ac.jp
運営委員	中国四国	田中 丈夫	国立病院機構広島西医療センター	7390696	広島県大竹市玖波4丁目1-1	ttanaka@ootake-nh.hosp.go.jp
運営委員	九州	永利 義久	九州がんセンター小児科	8111395	福岡市南区野多目3-1-1	ynagato@nk-cc.go.jp
運営委員	関東甲信越	林 泰秀	群馬県立小児医療センター	3778577	群馬県勢多郡北橋下箱田779	hayashiy_tky@umin.ac.jp
運営委員	関東甲信越	菱木 知郎	千葉大学医学部附属病院	2608677	千葉市中央区亥鼻1-8-1	hishiki@faculty.chiba-u.ac.jp
運営委員	近畿	福澤 正洋	大阪大学小児成育外科学	5650871	大阪府吹田市山田丘2-2	fukuzawa@pedsurg.med.osaka-u.ac.jp
運営委員	東海北陸	堀 浩樹	三重大学医学部附属病院小児科	5148507	三重県津市江戸橋2-174	hhorii@clin.medic.mie-u.ac.jp
運営委員	東海北陸	松本 公一	名古屋第一赤十字病院小児医療センター	4538511	名古屋市中村区道下町3-35	kmatsuno@nagoya-1st.jrc.or.jp
運営委員	東海北陸	三間屋 純一	静岡県立こども病院	4208660	静岡市葵区漆山1860	jnimaya@poppy.ocn.ne.jp
		地区代表運営委員欠員:東北1、近畿1				

運営委員会構成員一覧  
(前ページからの続き)

職名	氏名	所属施設	〒	住所	メールアドレス
専門委員会					
化学療法委員会委員長	原 純一	大阪市立総合医療センター			
外科療法委員会委員長	田尻 達郎	九州大病院小児外科			
放射線療法委員会委員長	正木 英一	国立成育医療センター放射線診療部	1570074	世田谷区大蔵2-10-1	masaki-h@ncchd.go.jp
中央病理診断委員会委員長	中川 温子	国立成育医療センター病理診断科	1578535	世田谷区大蔵2-10-1	nakagawa-a@ncchd.go.jp
分子生物学的診断委員会委員長	中川原 章	千葉県がんセンター研究所	2608717	千葉市中央区仁戸名町666-2	akiranak@chiba-cc.jp
統計委員会委員長	森田 智視	横浜市立大学附属市民総合医療センター	232-0024	横浜市南区浦舟町4-57	smorita@urahp.yokohama-cu.ac.jp
リスク分類委員会委員長	家原 知子	京都府立医科大学	6028566	京都市上京区河原町通広小路 上ル堀井町465	iehara@koto.kpuu.m.ac.jp
プロトコール検討委員会	原 純一	大阪市立総合医療センター			
ホームページ委員会	松本 公一	名古屋第一赤十字病院小児医療センター			
恒常委員会					
研究審査委員会委員長	永利 義久	九州がんセンター小児科	8111395	福岡市南区野多目3-1-1	ynagatos@nk-cc.go.jp
効果安全性委員会委員長	奥坂 拓志	国立がんセンター中央病院肝胆内科	1040045	中央区築地5-1-1	tokusaka@ncc.go.jp
外部諮問委員会	未定				
各センター長、監事など					
接体センター長	中川原 章	千葉県がんセンター研究所	2608717	千葉市中央区仁戸名町666-2	akiranak@chiba-cc.jp
データーセンター長	牧本 敦	国立がんセンター中央病院	1040045	中央区築地5-1-1	amakimot@ncc.go.jp
監事	真部 淳	聖路加国際病院	1048560	中央区明石町9-1	manabe-luke@umin.ac.jp
監事	堀越 泰雄	静岡県立こども病院	4208660	静岡市葵区漆山860	yhorikos@jun.nvcv.go.jp
事務局長	福島 敬	筑波大学臨床医学系小児科	3058575	つくば市天王台1-1-1	tksfk@md.tsukuba.ac.jp

以上37人、氏名の斜字体表記は兼任  
その他:

ＪＮＢＳＧ 地区代表運営委員（２００９年１月２４日選出、５月以降就任予定）

地区	氏名	所属	地区	氏名	所属
北海道	小田 孝憲	北海道立子ども総合医療・療育センター小児科	東海	堀 浩樹	三重大学医学部附属病院
東北	菊田 敦	福島県医大付属病院臨床腫瘍センター小児腫瘍部門	北陸	松本 公一	名古屋第一赤十字病院小児科
	土屋 滋	東北大学小児科		堀越 泰雄	静岡県立子ども病院血液腫瘍科
関東 東 甲 信 越	熊谷 昌明	国立成育医療センター固形腫瘍科	近畿	福澤 正洋	大阪大学大学院医学系研究科小児成育外科学
	池田 均	獨協医科大学越谷病院小児外科		小阪嘉之	兵庫県立子ども病院血液腫瘍科
	小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院小児科		細井 創	京都府立医科大学小児学教室
	菊地 陽	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科	原 純一	大阪市立総合医療センター	
	林 泰秀	群馬県立小児医療センター	中国	檜山 英三	広島大学小児外科
	麦島 秀雄	日本大学医学部小児科		石井 榮一	愛媛大学医学部付属病院小児科
	中川原 章	千葉県がんセンター研究所	九州	田尻 達郎	九州大学病院小児外科
	牧本 敦	国立がんセンター中央病院小児科		未延 聡一	大分大学医学部小児科学講座
	大冨多 肇	国立成育医療センター研究所		永利 義久	九州がんセンター小児科
	福島 敬	筑波大学小児科			

## 1. 恒常委員会

### 1-1. 研究審査委員会

委員長: 永利義久	九州がんセンター小児科
委員: 石田裕二	静岡県立静岡がんセンター小児科
掛江直子	国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部
青木一教	国立がんセンター研究所がん宿主免疫研究室室長
高橋秀人	筑波大学社会医学系 疫学
張 光陽	がんの子どもを守る会

### 1-2. 効果安全性評価委員会

委員長 奥坂拓志	国立がんセンター中央病院肝胆臓内科医長
岡田昌史	筑波大学社会医学系 疫学
事務局 細野亜古	国立がんセンター中央病院小児科

### 1-3. 外部諮問委員会(未発足)

## 2. 専門委員会

### 2-1. 化学療法委員会

委員長: 原 純一	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
副委員長: 杉本 徹	済生会滋賀県病院
委員: 飯塚 進	母恋天使病院小児科
家原知子	京都府立医科大学小児科
今泉益栄	宮城県立こども病院血液腫瘍科
菊田 敦	福島県立医科大学医学部小児科
菊地 陽	埼玉県立小児医療センター
熊谷昌明	国立成育医療センター病院血液科
七野浩之	日本大学医学部附属板橋病院小児科
高嶋能文	静岡県立こども病院
松本公一	名古屋第一赤十字病院 小児医療センター血液腫瘍科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院小児科
麦島秀雄	日本大学医学部附属板橋病院小児科
西村真一郎	広島大学病院血液小児科
小阪嘉之	兵庫県立こども病院血液腫瘍科

## 2-2.放射線療法委員会(小児放射線治療委員会)

委員長:	正木英一	国立成育医療センター放射線診療部
委員:	池田 恢	国立がんセンター中央病院放射線治療部
	角美奈子	国立がんセンター中央病院放射線治療部
	三橋紀夫	東京女子医科大学放射線医学教室
	野崎美和子	獨協医科大学越谷病院放射線科
	國枝悦夫	慶応義塾大学医学部放射線科 (都立清瀬小児病院放射線科併任)
	関根 広	埼玉医科大学放射線科 (埼玉県立こども病院放射線科併任)
	副島俊典	兵庫県立成人病センター放射線科 (兵庫県立こども病院放射線科併任)
	井上武宏	大阪大学医学部放射線科
	高井良尋	東北大学医学部放射線科
	中村和正	九州大学大学院臨床放射線科

小児放射線治療委員会事務局:

北村正幸	国立成育医療センター放射線診療部
------	------------------

## 2-3.外科療法委員会

委員長:	田尻達郎	九州大学病院小児外科
副委員長:		
委員:	黒田達夫	国立成育医療センター外科
	常盤和明	舞鶴医療センター小児外科
	菱木知郎	千葉大学医学部附属病院小児外科
	連 利博	茨城県立こども病院小児外科
	草深竹志	日本大学小児外科
	米田光宏	大阪府立母子保健総合医療センター

## 2-4.中央病理診断委員会

委員長:	中川温子	国立成育医療センター
委員:	北條 洋	福島県立医科大学
	田中祐吉	神奈川県立こども医療センター
オブザーバー:		
	大喜多肇	国立成育医療センター研究所

## 2-5.分子生物学的診断委員会

委員長:	中川原章	千葉県がんセンター
委員:	金子安比古	埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所
	林 泰秀	群馬県立小児医療センター
	田中文夫	国立病院機構広島西医療センター

	上條岳彦	千葉県がんセンター
	大喜多肇	国立成育医療センター研究所
アドバイザー:	渡辺直樹	順天堂練馬病院小児科
	嶋田 明	群馬県立小児医療センター
	大平美紀	千葉県がんセンター研究所
	檜山英三	広島大学病院小児外科
	田尻達郎	九州大学医学部小児外科

#### 2-6.統計委員会

委員長:	森田智視	横浜市立大学大学院医学研究科
		附属市民総合医療センター臨床統計学・疫学
委員:	斉藤真梨	東京大学大学院公共健康医学専攻生物統計学分野
	金子徹治	東京大学大学院公共健康医学専攻生物統計学分野

#### 2-7.リスク分類委員会

委員長:	家原知子	京都府立医科大学小児科
委員:	中川温子	国立成育医療センター
	中川原章	千葉県がんセンター研究所
	檜山英三	広島大学小児外科
	赤澤宏平	新潟大学医歯学総合病院医療情報部

#### 2-8. プロトコール検討委員会

委員長:	原 純一	大阪市立総合医療センター
コアメンバー:		
	麦島秀雄	日本大学板橋病院小児科
	田尻達郎	九州大学病院小児外科
	正木英一	国立成育医療センター放射線診療部
低リスク・中間リスク神経芽腫プロトコール作業部会		
	家原知子	京都府立医科大学
	田尻達郎	九州大学
	連 利博	茨城県立こども病院
	常盤和明	舞鶴医療センター
	菊地 陽	埼玉県立小児医療センター
	菊田 敦	福島県立医科大学
	北村 正幸	国立成育医療センター
	米田 光宏	大阪府立母子保健総合医療センター
	金川公夫	自治医科大学とちぎ子ども医療センター
アドバイザー:		
	岩中 督	東京大学小児外科

高リスク神経芽腫プロトコール作業部会

原 純一	大阪市立総合医療センター
七野浩之	日本大学
熊谷昌明	国立成育医療センター
松本公一	名古屋第一赤十字病院
黒田達夫	国立成育医療センター
菱木知郎	千葉大学
副島俊典	兵庫県立こども病院

2-9. ホームページ委員会

委員長：松本公一	名古屋第一赤十字病院小児医療センター
委員： 菊田 敦	福島県立医科大学小児科
菱木知郎	千葉大学小児外科

## 第4回 JNBSG総会・研究会

### プログラム・抄録集

2009年1月24日(土)

11:00-17:00

キャンパス イノベーションセンター 東京

(アクセスは最終ページを参照)

### 総会 午前の部

11:00-12:30

			11:00
1. 会長挨拶	金子会長	7+3分	
2. 運営委員会報告 特に規約(最新版)について	池田運営委員長	15分+5分	11:30
3. 委員会報告など(1)			
3-1. ホームページ委員会	松本委員長	7+3分	
3-2. 中央診断について			
第1検体センター・分子細胞学的診断委員会	中川原委員長	10+5分	
第2検体センター・病理診断委員会	中川委員長	10+5分	12:10
3-3. 研究審査委員会	永利委員長	10分	
審査中の附随研究の概要について	滝田研究代表	5分	
3-4. 統計委員会	森田委員長	5分	12:30

### 休憩(昼食)

12:30-13:15



## 総会 午後の部

13:15-15:30

13:15

### 4. 委員会報告など(2)

4-1. リスク分類委員会、低・中間リスク臨床試験WG 家原委員長 15+5分

4-2. 外科療法委員会 田尻委員長 10+5分

13:50

4-3. 化学療法委員会・高リスク神経芽腫プロトコールWG 原委員 10+5分

4-4. 放射線療法委員会 正木委員長 10+5分

4-5. データセンターの移行について他 牧本センター長 10+5分

瀧本次期センター長 7+3分

14:45

### 5. 臨床試験進捗報告

5-1. 高リスク神経芽腫に対する標準的集学的治療の後期第Ⅱ相臨床試験 15+5分

(効果安全性委員会報告の内容を含む) 熊谷研究代表

5-2. 進行神経芽腫に対し原発巣切除術を含む局所療法を大量化学療法に遅延させて行う治療計画の早期第Ⅱ相臨床試験 麦島研究代表, 七野研究事務局長 15+5分

(効果安全性委員会報告の内容を含む)

### 6. その他

5分

以上

15:30

# 研究会

15:30-16:30

各演題とも7分間のプレゼンテーション+3分間討論

## A. 示唆に富む症例

15:30

座長 小阪 嘉之 兵庫県立こども病院血液腫瘍科

(1) 谷口慎治1、右田昌宏1、卒島真美1、永田裕子1、蔵田洋文1、中島光一郎1、持永将惠1、平井克樹1、村上真紀1、西原重剛1、寺倉宏嗣2、金場俊二

1. 熊本赤十字病院小児科、2. 同小児外科

「多量の腹水を伴い、大きな囊胞成分を有した神経芽腫の2歳男児例」

(2) 匹田典克、塩田光隆、吉岡耕平、秦 大資

財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 小児科

「呼吸窮迫症状をきたした後縦隔原発 dumb-bell 型神経芽腫(NB)の一例」

## B. 臨床研究

15:50

座長 堀 浩樹 三重大学医学部附属病院

(3) 半田陽祐、清田晃生、秋吉健介、末延聡一、泉 達郎

大分大学医学部小児科学講座

「乳児期神経芽腫(NB)の認知能の発達」

Cognition development in patients with NB during infancy

(4) 上原秀一郎1、大植孝治1、米田光宏3、草深竹志4、太田秀明2、福澤正洋1

1. 大阪大学大学院外科学講座小児成育外科学、2. 同小児科学、3. 大阪府立母子保健総合医療センター小児外科、4. 日本大学医学部外科学系小児外科分野

「進行神経芽腫の局所遅延療法における外科手術の安全性について」

## C. 基礎研究

16:10

座長 大喜多 肇(国立成育医療センター研究所)

(5) 宗崎良太、田尻達郎、田中桜、木下義晶、田口智章

九州大学大学院医学研究院小児外科学

「神経芽腫における MYCN gain (FISH) と 2p gain(SNP array)の解析」

(6) 朱育炎1、李元元1、大平美紀1、尾崎俊文1、中村洋子1、中川温子2、荒川博文3、上條岳彦1、中川原章1

1. 千葉県がんセンター研究所、2. 成育医療センター、3. 国立がんセンター

「神経芽腫における新規依存性受容体 UNC5D の発現とその機能的意義」

16:30

## 第4回 JNBSG研究会 抄録集

2009年1月24日(土)

キャンパスイノベーションセンター 東京

(1) 谷口慎治 1、右田昌宏 1、卒島真美 1、永田裕子 1、蔵田洋文 1、中島光一郎 1、持永將恵 1、平井克樹 1、村上真紀 1、西原重剛 1、寺倉宏嗣 2、金場俊二 2

1. 熊本赤十字病院小児科、2. 同小児外科

### 「多量の腹水を伴い、大きな嚢胞成分を有した神経芽腫の2歳男児例」

尿量減少と下肢の浮腫を主訴に受診。著名な腹部膨満を認め、LDH 2,111、超音波検査で多量の腹水と、左副腎由来と思われる腫瘤性病変を認めた。CT検査で5.5cm大の石灰化を伴う軟部腫瘤影とその腹側に9cm大の嚢胞性病変を認めた。NSE 280, HVA 54.2 VMA 11.5と上昇し、病理組織より神経芽腫 Stage IVと診断し、JNBSG プロトコールに準じ化学療法を開始した。N-myc 38 コピー。4クール後に外科療法を施行し現在に至る。

(2) 匹田典克、塩田光隆、吉岡耕平、秦大資

財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 小児科

### 「呼吸窮迫症状をきたした後縦隔原発 dumb-bell 型神経芽腫(NB)の一例」

1歳3ヶ月女児。昨年11月8日に喘鳴強く近医受診。吸入後改善せず9日当院紹介。SaO<sub>2</sub> 85%。胸部CTで右胸腔上部腫瘤による主気管支狭窄と右主気管支閉塞あり。椎間孔(G3~5)に腫瘍浸潤するが神経学的所見なし。開胸生検で小円形細胞腫瘍と判明。MIBGシンチで腫瘍限局の異常集積、尿中VMA・HVAと血中NSE上昇からNB(IHSS stage2B)と診断。血清MYCNは非増幅だが緊急症例としVCR 1.5mg/m<sup>2</sup> (Day1), CPM 1200mg/m<sup>2</sup> (Day1), CDDP 12mg/m<sup>2</sup> (Day1~5) 開始。4日目から気道圧迫症状軽減。以後James療法継続中。

(3) 半田陽祐、清田晃生、秋吉健介、末延聡一、泉達郎

大分大学医学部小児科学講座

### 「乳児期神経芽腫(NB)の認知能の発達 Cognition development in patients with NB during infancy」

乳児期NBの退縮やオプソクローヌス・ミオクローヌス症候群(OMS)の発症に神経細胞のアポトーシスの関係が示唆されている。中枢神経系への影響を検討する目的で認知能の発達を検討した。対象は1991-2007年、大分大学小児科に入院、治療した乳児期NB16例、うち2例がOMSを合併。11例中2例で発達遅滞、10例でIQ/DQ $\leq$ 95、WISC-IIIrdでVIQとPIQ

の有意な差異 ( $10 \leq$ ) 7 例。乳児期 NB 退縮機序が、大脳神経細胞、認知能、の発達にも影響を及ぼしている可能性を示唆した。

(4) 上原秀一郎 1、大植孝治 1、米田光宏 3、草深竹志 4、太田秀明 2、福澤正洋 1

1. 大阪大学大学院外科学講座小児成育外科学、2. 同小児科学、3. 大阪府立母子保健総合医療センター小児外科、4. 日本大学医学部外科学系小児外科学分野

#### 「進行神経芽腫の局所遅延療法における外科手術の安全性について」

造血幹細胞移植を併用した大量化学療法 (HDC) を施行した後の外科手術施行時には様々な問題点が存在する。今回、その問題点と安全性を自験例 14 例で検討した。術前に血小板減少を 11 例、貧血を 5 例に認め、3 例が免疫抑制剤を使用していた。術後は中枢ルート感染 2 例、肺炎 1 例、帯状疱疹 1 例、腸閉塞 4 例、肝機能異常 1 例を認めたが、全例軽快した。術後経口摂取開始時期は平均 16 日であった。今回、これらの詳細について報告する。

(5) 宗崎良太、田尻達郎、田中桜、木下義晶、田口智章

九州大学大学院医学研究院小児外科学

#### 「神経芽腫における MYCN gain (FISH) と 2p gain (SNP array) の解析」

当科で経験した神経芽腫 50 例に対して、SNP array を用いて MYCN 遺伝子が存在する 2 番染色体短腕の変化、特に 2p gain と FISH での MYCN gain について検討した。

FISH は 50 例中 43 例に行われ、うち 6 例は MYCN gain の症例であったが、これらはいずれも、SNP array 解析で 2p gain の症例であった。

このことから、FISH で MYCN gain の細胞は 2p gain の状態を表していることが示唆された。

(6) 朱育炎 1、李元元 1、大平美紀 1、尾崎俊文 1、中村洋子 1、中川温子 2、荒川博文 3、上條岳彦 1、中川原章 1

1. 千葉県がんセンター研究所、2. 成育医療センター、3. 国立がんセンター

#### 「神経芽腫における新規依存性受容体 UNC5D の発現とその機能的意義」

UNC5D は依存性受容体 UNC ファミリーの新規メンバーである。その発現は予後良好群で有意に高値であった (108 例の解析、 $P=0.0032$ )。UNC5D は p53 のダイレクトな転写ターゲットであり、UNC5D-null MEF の解析からカスパー 3 が関与したアポトーシス誘導に関ることが示された。